



平成30年1月1日 城北コミュニティだより 第90号

明倫の里 城北 ともしび

発行・城北コミュニティ 丸亀市御供所町一丁目5番20号
城北コミュニティセンター「明倫」☎25-2141

城北地区人口

| | |
|-----|-------------|
| 世帯数 | 2,758 (-4) |
| 人口 | 5,939人(-11) |
| 男性 | 2,784人(-7) |
| 女性 | 3,155人(-4) |

(平成29年12月1日現在)

(カッコ内は平成29年11月1日比)



昔と今を融合させた そら組オリジナル『うらしまたろう』



きらきら
輝く笑顔で



昨年11月26日に城北幼稚園発表会が行われました。全園児24人が、力を合わせ生き生きと表現する姿は、周りに感動を与えてくれました。

5歳児そら組8人の子どもたちにとっては、幼稚園生活最後の発表会。3年間の積み重ねで得た『たくましい心』と『深い信頼関係』を発揮することができました。この先もずっと支え合える仲間であることを願っています。地域の皆様、本年も宜しくお願致します。

(城北幼稚園 園長 田中加奈子)

第18回城北明倫まつり

3月4日開催

第18回城北明倫まつりが3月4日(日)午前9時から明倫センターで開催されます。生涯学習クラブの1年間の練習成果の発表や幼児の演技、人気のバザー、豪華景品のくじ、幼児・クラブ・一般等の展示を例年どおり行います。ご近所お誘いあわせの上ご来場ください。

Twitter

「城北コミュニティ」で検索ください。



秋晴れに恵まれ大にぎわい

「第21回ほくほくふれあいまつり」実行委員会、城北コミュニティ共催が10月8日城北小学校で開かれました。秋晴れに恵まれ、多くの地域住民らでにぎわいました。競技や演奏、飲食、明倫くじなどを楽しんでいました。健康診断コーナーに測定待ちの列も。

ほくほくふれあいまつり



毎回人気の明倫くじ。発売開始の正午前から買い求める人の長い列



【写真説明】①東中学校吹奏楽部のドリル演奏②壮年以上のベタンク③幼児と親子のボール運び④城北幼稚園児の軽やかなダンス⑤大賑わいのバザーテント⑥健康測定コーナーに真剣なまなざし⑦子供に人気の魚つりコーナー⑧憩いのひと時⑨消防自動車の乗車初体験

「児童と一緒にマツプ作り」



危ない所にシールを貼ったよ

9月24日、城北小児童と保護者、環境部員、パトロール隊員約50人が参加して、香川大学の磯打准教授指導のもと、児童が安全に登下校できるように、校区内の交通量の多い所や、見通しの悪い場所などを見て回り、「自分だけの防犯マップ」を作りました。

その後センターで児童が発表し、安全意識を高めました。（環境部会）

新春ウォーキングご案内

日時 30年1月7日(日)

午前9時30分集合

集合場所 丸亀城大手門

第2回高齢者弁論大会

11月11日115人が参加し盛大に行われました。

今回の弁士は5人で、

①片山和雄さん：野球にのめり込み体が小さいので人の何倍も練習した。

②平田葉子さん：若い時慰問のコーラスで聴衆の優しさ感激し、音楽が永遠の友となった。③香川宏さん：61歳で車の免許をとり、以来車計簿（車にかかった費用）を



実体験の話に元気をいただきました

つけている。④七座文世さん：喫茶店から始めた店を飲食店にし41年たったが、母のおかげでこれまでやってこられた。感

謝している。⑤西川清子さん：漁業協同組合女性部部长をしているが、大切な仲間があつてこそ活動ができる。みなさんの話会場内は感動に包まれました。（福祉部会）

減塩料理教室

12月1日、明倫センターで50歳くらいまでの方を対象に減塩料理教室が開催されました。

メニューは「鶏胸肉のマスタードソースかけ」「ジャガイモとニラの煮物」「キノコ汁」「ガトーショコラ」。子供は託児係に頼んで料理に専念。普段は組み合わせないジ



減塩は素材の味を生かして

ヤガイモとニラ、おからのガトーショコラなどを習い、早速今夜から作りたいとの声も出ました。（城北愛育班）

「スゴイ！段ボールがこんなに变身」



100kgでも大丈夫？

11月20日、役員、環境部員16人で、東かがわ市の「フジダン」の工場を見学しました。

いろいろ説明を受けた後、最新のロボットや高速機械を見て合理化されているのに驚きました。また、別室では社員の方が、災害時に身を守る為の床やベッドの代用品を組み立ててくれました。

普段何気なく使っている段ボールが、こんなに役に立つのかと、考え直す良い機会になりました。な研修会となりました。（環境部会）

今年は小物入れを

城北婦人会では11月2日、38人が集まり、会員の本西信子さんの指導でペットボトルと布を使った小物入れを作りました。（城北婦人会）



可愛いでしょ。みんな満足...

平成29年度ソフトバレーボール大会結果

- 優勝 ヴィーナス
 - 2位 リボンの騎士
 - 3位 クローバー
- あんみつ姫

肩こり・冷え性にきくツボとお灸体験

11月5日、明倫センターで愛育班会員対象に、四国医療専門学校鍼灸学科長榎田和敏先生を迎えて、肩こりや冷え性にきくツボとお灸体験をしました。



ツボはここかな？

「お灸はなぜ体にいいの？」お灸は体のしくみにそった自然療法です。肩こりのタイプには、
①冷え性 ②ストレス
③血行障害 ④高血圧
⑤眼精疲労があります。体験会ではいろいろなお灸の位置を学び、お灸をすえました。何度かしている内に身体中が気持ち良くなったようです。

（城北愛育班）

学園の現場から

丸亀市立城北小学校

校長 白井邦彦

10月27日に中四国9県から900人を超える参加者を迎え、第55回中四国小学校体育研究大会が城乾小と城北小の2校を会場に開かれました。

本校では、これまでの実態調査や各種アンケートから、運動の日常化と継続的な体力づくりを図ることが子どもたちにとって必要であることが明らかになっていきました。

また、体力テストの結果からも、柔軟性や持久力が劣っていることがわかりました。そこで2時間目と3時間目の間の25分間を「元気アップタイム」とし、毎週火・木曜日を「元気アップタイムPlus」と名付けて全校生が6種類のチャレンジ種目に挑戦して体力づくりをしてきました。

当日は、運動場・芝生広場・体育館・なかよし

城北コミュニティ日より「ともしび」編集・広報部会
年間4回発行（1月、4月、7月、10月の各1日付）

の庭の4つの会場に分かれて全校体育にチャレンジする様子を見ていただきました。

その後、各学年1組ずつの公開授業を行いました。

- 1年生は運動場で「川をどびこえ！ジャングルたんけん」（走・跳の運動遊び）
- 2年生は体育館で「すすめ！2青レジエンドゆうしやの大ぼうけん」（跳び箱を使った運動遊び）
- 3年生は研究協力校の城東小学校からの出前授業
- 4年生は運動場で「自分のリズムで全力疾走！（写真①）」（小型ハードル

中四国小学校体育研究会でのびのびと力を発揮



走)

○5年生は教室で「聴こう心の声を！そして元気になあれ私の心」（保健）

○6年生は体育館で「台上からでもだいじょうV（写真②）」（跳び箱運動）

参観者からは「子どもたちが生き生き、きびきび活動していてとても楽しそうだった」（愛媛）「教具や場の工夫により、子どもが安全に効率よく運動に取り組む姿が印象的だった」（山口）「子どもの表情がとてもよかったです」（高知）「話し合いの場面では、子どもたちが『くしたい』と意欲的に取り組めていて感心した」（岡山）「先生が明るくノリノリで子どもたちも楽しいだろうなあと思った」（鳥取）などの感想が寄せられました。

防災メモ

大きな災害は近い将来には必ずやって来る。「正しく知り、正しく恐れる」。そして、できる限りの備えをすること。まずは自助、命さえ助ければなんとかなる。その時、自分の安全ゾーンはどこか？安全ゾーンとは、転倒落下物の少ない所や閉じ込められない場所です。

あとがき

2018年の幕が明けました。戌年の夢はどのようなものでしょうか。昨年はいろいろなことがありました。10月には、コミュニティ最大の行事「ほくほくふれあいまつり」が開かれ、多くの方が参加されました。3月の「明倫まつり」をはじめ、今年もイベントや講座などが目白押しです。地域の皆さんのご協力をお願いいたします。（若松）

「城北コミュニティセンター」の名称を「ともしび」紙上では「明倫センター」と表記しています。